

神奈川県立相模原養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和4年度 神奈川県立相模原養護学校 第1回学校運営協議会		
開催日時	令和4年5月30日(月) 13:00 ~ 15:10		
開催場所	相模原養護学校 実習棟 2階 縫製室		
出席者	学校運営協議会委員 7名(欠席 1名)、本校職員:事務局 5名		
次回開催予定日	令和4年8月2日		
問合せ先	神奈川県立相模原養護学校 副校長 比留川はるか 電話 042-778-0818 FAX 042-778-4957		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・会議経過 【学校運営協議会 (学校評価部会)】	<p>・学校長挨拶 ※(事務局)本日の日程・配付資料の確認 <協議(意見等)></p> <p>(1) 校内見学・本校の概要説明</p> <p>・児童生徒の放課後の過ごし方はどのようなものがあるか。➡放課後等デイサービス事業所の利用が多い。学校からすぐに送迎の車で向かい、自宅まで送迎される場合が多く、社会参加にどうつなげていくか課題といえる。</p> <p>(2) 第1回学校評価部会</p> <p>・令和4年度学校運営の基本的な方針説明</p> <p>・欠席された会長から、センター的機能のあり方、ギオンとの連携のあり方、目標設定の用語の使い方などについて、事前にご意見をいただいた。</p> <p>◎昨年度の保護者アンケートでは、「ICTを活用した授業」、「パラスポーツ」「保護者が参加できる研修」の項目が低かった。これらの項目は、今年度の取組みにどう反映されているか。</p> <p>➡授業でiPadは多く活用している。また先日の神奈川フィルハーモニーの演奏会では、体育館での演奏を教室にライブ配信するなどの取組みも行った。パラスポーツはこれまで中学校との交流でポッチャ、光明学園との交流でフットサルを行っている。今年度はフローボールの講師を招く予定である。保護者向けの研修はコロナのため2年間できなかったが、今年度は保護者も参加できる公開研修会を予定している。</p> <p>◎全体的に学校で取り組んでいることは多いが、保護者への広報が不足していると考えられる。</p> <p>◎センター的機能として、待っているだけでなく、積極的に出ていくことも必要ではないか。例えばアセスメントを地域の教員が知ることは大事ではないか。また保護者対応の方法なども地域に広げていければよい。成人を対象にしていると、学校の時に適切な関わりがあればもっと能力が伸ばせたのではと思うことが多い。例えば進路先を決める際、送迎があるからという保護者の意向で決まってしまう例もある。適切なアセスメントに基づくことが必要ではないか。そのようなアセスメントができる地域の教員を増やす、先生方の人材育成もセンター的機能として重要だと思う。➡地域の先生の人材育成として、支援級の担任に新たになった先生への研修を本校を会場に毎年実施している。以前は教材教具展を行っていたが、現在中止している。ホームページで紹介ができるように検討中である。センター的機能として、教育相談担当が3名いるが、多いときは毎日のように地域の学校を訪問している。</p> <p>◎学校の授業で取り組んでいることを、家庭と共有していくことが大事だと思う。先ほど見学した内容を、どれだけ保護者は知っているのか。また個別教育計画はどう作っていくのか。</p> <p>➡個別教育計画は、保護者と4月に面談をして作成、8月の面談で中間評価と後期の目標設定を行い、2月の面談で年間の評価と次年度の目標設定をしている。ただ量的にA4版1枚程度で毎日の授業を網羅したものではない。授業の様子などを連絡帳や学年だより等で伝えて補足する。センター的機能は、地域の児童生徒の直接支援ではなく、学校の支援力を向上するために行っている。県は「かながわ特別支援教育推進指針」を作成し、その中でも市町村との連携と協働が示されている。これからも効果的に取り組んでいきたい。本校では通学支援のために、今年度マイクロバスを1台導入した。高等部では自力通学をめざす一方で、学びの保障の一環として通学保障も必要である。ひとり一人にあったステップで、その人なりの自立をめざしていきたい。</p> <p>(3) 令和4年度相模原養護学校のコミュニティ・スクール</p> <p>・学部や班が年間目標を作成するが、学校評価部会と今後の予定も関連付ける。</p> <p>(4) 株式会社ギオンとの連携事業報告</p> <p>(5) 事務連絡後、閉会</p>		